

第 1 回館山市議会定例会会議録

(第 5 号)

1 平成8年3月22日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1番 辻田 実	2番 本橋 亮一
3番 三上 英男	4番 小幡 一宏
5番 忍足 利彦	6番 鈴木 順子
7番 斉藤 実	8番 増田 基彦
9番 島田 保	10番 宮沢 治海
11番 秋山 光章	12番 植木 馨
13番 脇田 安保	14番 永井 龍平
15番 山崎 雅己	16番 鈴木 忠夫
17番 岩村 勝弘	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	20番 神田 守隆
21番 山中金治郎	22番 榎本 春光
24番 福原 勤	25番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

23番 石井 昌治

1 出席説明員

市長 庄司 厚

収入役 川上 義雄

総務部長 神子 純一

経済環境部長 小沼 晃

水道課長 谷貝 実

教育委員会 高橋 博夫
教育 会長

選挙管理委員会 寺嶋 清
選挙 会長
事務局 書記

監事 田村 哲也
事務局 査長

助役 小幡 清之

企画部長 永野 修

市民福祉部長 渡辺 富雄

建設部長 三平 孝司

教育委員会 藤田 尚正
教委 会長

選挙管理委員会 加藤 利
選挙 会長
委員

監査委員 山田 教和

農業委員会 斉藤 明
農会 会長

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一

事務局長補佐 鈴木 哲

書記 四ノ宮 朗

書記 安田 仁一

書記 小山 真

書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第5号）

平成8年3月22日午前10時開議

日程第1

議案第 9号 千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の変更に
関する協議について

議案第10号 千葉縣市町村総合事務組合规約の変更に
関する協議について

議案第11号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償
に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて

議案第12号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に
関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の
制定について

議案第14号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関
する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第15号 財産の取得について

議案第16号 財産の無償譲渡について

議案第17号 民事調停の申立てについて

議案第18号 民事調停の申立てについて

議案第19号 民事調停の申立てについて

議案第20号 民事調停の申立てについて

議案第21号 民事調停の申立てについて

議案第22号 民事調停の申立てについて

- 議案第34号 平成7年度館山市一般会計補正予算（第5号）
- 日程第2 { 議案第23号 安房南部伝染病隔離病舎組合を組織する市町村数の減少及び安房南部伝染病隔離病舎組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 議案第24号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第28号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第30号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第35号 平成7年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第36号 平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）
- 日程第3 { 議案第31号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第32号 館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第33号 市道路線の認定について

議案第37号 平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算
(第3号)

議案第38号 平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算
(第2号)

日程第4 継続審査について

議案第1号 平成8年度館山市一般会計予算

議案第2号 平成8年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第3号 平成8年度館山市老人保健特別会計予算

議案第4号 平成8年度館山市ユースホステル特別会計予算

日程第5 { 議案第5号 平成8年度館山市学童災害共済事業特別会計予
算

議案第6号 平成8年度館山市下水道事業特別会計予算

議案第7号 平成8年度館山市水道事業特別会計予算

議案第8号 平成8年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

日程第6 特別委員会中間報告

日程第7 議案第39号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第8 議案第40号 館山市収入役の選任について

日程第9 発議案第2号 地方分権の実現に関する意見書について

開 議 午前10時21分

◎議長(辻田 実君) 本日の出席議員数24名、これより第1回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長(辻田 実君) 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第9号乃至議案第22号及び議案第34号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、3月11日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長脇田安保さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長脇田安保君登壇）

◎総務委員会委員長（脇田安保君） ただいま議題となりました議案第9号乃至議案第22号及び議案第34号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月11日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第11号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。報酬額の引き上げ率について説明を求めたところ、現行の額に3%を乗じ、1,000円未満の端数を四捨五入したものであるとの回答がありました。

次に、議案第15号財産の取得についてであります。ウエルネスリゾートパーク計画用地については、平成3年度に開始、平成11年度を目途として取得を進めている。現在の進捗状況は、本案の該当部分を含め、平成7年度末で51.5%であるが、当初計画より若干おくれているところであるとの説明がありました。

また、他市において土地の先行取得による含み損の問題が明らかになったが、その防止のため、できるところから計画を実施していくことが必要ではないかとの意見に対し、スポーツゾーンについて第1次的に考え、県立運動公園の拡張として進めているが、県に働きかけるとともに、当該区域につい

て土地を集中的に取得するような方向で進んでいる。なお、含み損については、リゾート法の監視区域の適用を受け、比較的低価となっているため、現時点では余り強く認識していないとの説明がありました。

次に、議案第17号乃至議案第22号民事調停の申立てについてであります、調停を申し立てようとするに至った経緯について詳細な質疑がなされました。

討論において、本案に賛成はするが、他に同様の事例もあるため、今回の件が前例となり、他に波及しかねないという大きな問題を含んでいる。時効取得についても念頭に置いた上で慎重に対応する必要があるとの意見がありました。

次に、議案第34号平成7年度館山市一般会計補正予算（第5号）であります、教育費中、ふるさと創生奨学基金繰出金に関して、現在低金利が続いているが、同事業に与える影響はどうかとの質疑に対し、希望者の数、返還金の減免等、不確定の要因もあるが、現時点では人数の範囲内で実施していただける。しかしながら、3年先になって現在の状況が続いているようであれば、問題が生じてくるであろうとの回答がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第9号乃至議案第22号及び議案第34号については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。

18番日下さん。

◎18番（日下君敏君） 議案第17号ないし22号につきまして賛成討論いたしたいと思いますが、自席からで結構ですか。いいですか。

◎議長（辻田 実君） どうぞ。自席をお願いします。

◎18番（日下君敏君） この17号から22号の議案は、いずれも旧四中跡地のグラウンドにつきまして、地権者と館山市が調停をいたそうという内容でございます。つまり、今四中跡地に10件の館山市への未登記の土地があるので、これを所有権の移転を求めて調停をいたすというわけであります。総務委員会の質疑を通じまして、かなり突っ込んだ質疑をさせていただいたわけですが、市の御答弁がいまいちはっきりしない。何かあいまいもことしておりますものですから、ひとつ改めて――館山市がこれから調停に、この議会が採決いたしますと調停に入るわけでありますから、館山市のしっかりしたスタンスをとっていただきたいというようなことを含めまして、賛成討論を一、二いたしたいと思います。

まず、調停というこの内容が――調停というのは、やはり両当事者間がどうしても対立点があって話がつかない、その場合に調停をいたすということでありまして、特にこの裁判上の調停というのは、通常はもう簡単に言うとかんがえ状態になっていて、もう話にならぬのだ。相手のところへ話に行っても話にならない。そこで、申立人が申し立てて、裁判所による調停をしていただくということなんでございますけれども、どうも質疑の中で、いや、所有権者、地権者はある種の合意をしている。合意をしているのだけれども、調停をいたすということになりますと、私はこれは調停になじまないんじゃないか、本来この事件そのものが、というふうに思うわけであります。

ざっくりばらんに申しますと、市の御答弁でありますと、所有権者がある程度合意している、所有権を移転することについて。合意していて、なおかつ館山市が調停を出すということは、結果、簡単に申し上げれば、そこで和解金なり調停金なり、そういう金員の高をここで第三者に決めてもらおうじゃないか。所有権移転するのは結構だ。しかしながら、これがロハでいくということは、無償でいくということはどうも納得しかねる。ですから、ひとつ金員で――どの程度のもので解決できるのか、市も相手方も当事者としては

何とも言いにくいから、ひとつ第三者機関の裁判所に決定してもらおうじゃないかというようなふうに思えるんですが、そういうことは裁判上の調停になじまないんじゃないかと私は思うわけであります。

ということは、今未解決の方は7件あるわけです。そのうち今回調停が出ているのは6件のわけです。もう一件はどうなっているかというところでは、関西在住でありますから、この方はつまり調停ではなくて、今の6件の方の裁定が出たら、裁定というか、調停案が調停されればそれに従いますよということだと、明らかにこれはもう金銭上の調停しかないんで、さらに金銭上の調停からいくと、6件まで出す必要はないわけです、1件だけ出してみればいいわけでありますから。そういったことから考えても、この調停というのはどうもいま一つ腑に落ちないなというふうに思うわけであります。

そこで、これを私が断定して、金銭上の問題だいたしますと、市の御答弁は、昭和23年に館野村が学校をつくるために地主からグラウンドを買収なり代替地なりで取得した。ただ、このときに10件の方々は所有権移転がなされなかった。それで、昭和29年に館野村が館山市に合併した際に、その資料の中に、引き継ぎ資料の中に、この事件についてはすべて買収済みである、未登記のものについては所有権移転をなさいという一札というか、引き継ぎ事項があるというわけです。そのままそれが現在に立ち至ってきた。途中47年に3件ほどが解決して、今回の7件はそのまま残った、こういうことです。

そうしますと、館山市としては一応買収は終わっているんだという建前に立てば――これは断定でございますが、調停をする際に金員ということで決まるとすれば、その金員が、所有権を移転するためには地権者各位の印鑑証明等々が要るから、判こ代とか、その方が当該役場に行くから、それまでの交通費ないし日当等々、つまり世間で言う印鑑代というか、判こ代といひますか、そういう程度のものなら結構だと思いますけれども、これが仮に、30年、40年、50年置いたから、迷惑料だとか、あるいはそういった和解金だとか調停料だとかというような、判こ代から倍する、数倍する金額が調停され

たとなりますと、これは問題があるんじゃないかなというふうに思うわけ
あります。したがって、館山市のスタンスをしっかりといただきたいとい
うことの中で申し上げておるわけであります。

話が長くなって申しわけないんですが、もう一つの問題は、館山市は昭和
29年に引き継いで以来、平穩かつ公然と、それこそ過失なく、善意でこれ
ずっと管理してきたと思うんです。私は法律に明るくありませんが、いわ
ゆる取得時効という問題が生じるんじゃないか、時効によって、これは館
山市が取得できるんじゃないかという問題があるかと思うんです。そう
しますと、これは法律の専門家に聞いてみないとわかりませんけれども、
もし時効ということが成立して、それで館山市に所有権が移転されると
なりますと、この調停ということとの兼ね合いがいかかなものになるの
かなというふうにも考えられるわけであります。また、一説によります
と、いや、時効ではない。つまり、館山市はそれを使用収益するけれど
も、所有権は絶対所有権であるから、それは時効がないというような
意見もある、議論もあるということをおもひ聞きをしたんでありますが、
いずれにしても、そういういろいろな問題がある。

さらにこれを申し上げますと、市の御答弁は、この事件は旧四中に
限った特例である、例外でありますということではありますが、私は
これは例外ではないと思うんです。今後これが先例になっていくとい
うふうに思うわけであります。つまり、館山市が現在使用して
おります、館山市が使っておる、管理しておる土地で未登記の
不動産が出た場合に、そうすると今後館山市は、すべて館山市
が調停をかけて、裁判所にゆだねてこの事件を解決しなければ
ならないということの先例だろうと思うんです。今までこうい
うことはないだろうと思うんです、未登記土地を直すのに調停を
いたした。だから、この問題は先例になってくる。例えば、ある
地区の市道がありますが、その市道はまだ区の所有権になって
おります。そうしますと、これが寄附されたものなのか、買った
ものなのか、あるいはとりあえず道路として使用しておいて
くださいよということなのか、これはもう古い話ですから、市も
そういう資料は持っていない。そうすると、この事件を受けて、
ならばこの問題について

でも調停してくださいということにもなってくるだろうと思うわけです。そういう意味で、この問題は大変重要なものを含んでおるなというふうに存するわけでございます。

でありますから、この議案が採決されますと調停に入るということでございますから、調停そのものには私は賛成でございますんで、ひとつ館山市のスタンスとして、いたずらに — そういうことはございませんでしょうけれども、地権者におもねるというようなことはなくて、館山市の主張すべきことはしっかりと主張していただいて、毅然とした態度をとってやっていただきたい、そういうふうに思うわけであります。そういうことで、これから調停をいたすということは賛成でございますんで、そういう市のスタンスをしっかりと持ってひとつやっていただきたいということを申し上げまして、討論といたします。

終わります。

◎議長（辻田 実君） 他に討論はございませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第23号乃至議案第30号、議案第35号及び議案第36号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、3月11日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました議案第23号乃至議案第30号、議案第35号及び議案第36号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月11日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、13日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第24号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。指導主事兼務手当について尋ねたところ、指導主事については、学校教職員の資質向上を図ることを目的として教職員の指導及び研修にかかわる事務であり、現在2名採用している。給与等については、県の条例に合わせているとの説明がありました。

議案第25号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回改正することとした理由について説明を求めたところ、前回市の改正は平成2年であり、この間、国は保育料の交付税算定基準を平成4年と平成7年の2回にわたり改正しているが、市においては4年に改正した国の基準に改正しようとするものであるとの説明がありました。

討論において、2回にわたる国の改正を据え置いてきたことを市当局は強調するが、市の人口が減少している状況を考えると、子供が産みにくい、育てにくい状況を市自らがつくるべきではなく、今後は若い人たちが子供を産みやすく、育てやすい環境づくりを要望するとの意見がありました。

議案第28号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一

部を改正する条例の制定について及び議案第29号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります、ヘルパーの増員は計画どおり行われているのかとの質疑に対しまして、平成2年度から6年度までは1名ずつ、7年度は3名の増員を行い、来年度は2名の増員を予定しているとの説明がありました。

委員から、ヘルパーがより働きやすくなるよう、身分保障等を含めて検討されたいとの要望がありました。

議案第30号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてであります、鴨川市の状況はどうか。また、消防団員の報酬をどう考えるのかにつきましては、鴨川市においては、団長28万 1,000円、副団長13万 5,000円、分団長8万 9,000円、副分団長5万 3,000円、部長4万 5,000円、班長3万 2,500円、その他の団員2万 6,500円となっている。また、報酬額については、県全体では高い方であるが、安房郡では低い方である。火災件数、夜警件数も多いので、手当の方で支給しているが、今後他市の状況を見ながら考えていきたいとの答弁がありました。

また、婦人消防団を検討してはどうかとの意見に対しまして、今のところ考えていないとの答弁がありました。

議案第35号平成7年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてであります、来年度保険税はどうかとの質問に対し、新年度予算においても保険税引き上げは極力抑えたいとの回答がありました。

議案第36号平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）についてであります、委員から、市の財政が非常に厳しい状況にある中で、歳出を抑えることが必要と考えるがどうかとの質疑に対し、市は積極的に各地域において健康教育を行っているが、今後とも地域、行政、医療の3者で推進していきたいと考えているとの説明がありました。

委員から、地域が自主的に健康教育に取り組むという機運が盛り上がっていくような努力を要望するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第23号、議案第24号、議案第26号乃至議案第30号、議案第35号及び議案第36号については全員一致、議案第25号に

については賛成多数をもって、原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第23号及び議案第24号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

続いて、議案第25号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

続いて、議案第26号及び議案第27号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

続いて、議案第28号及び議案第29号の各議案を一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(辻田 実君) 起立多数であります。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

続いて、議案第30号、議案第35号及び議案第36号の各議案について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第3、議案第31号乃至議案第33号、議案第37号及び議案第38号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました各議案は、3月11日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長増田基彦君登壇)

◎建設経済委員会委員長(増田基彦君) ただいま議題となりました議案第31号乃至議案第33号、議案第37号及び議案第38号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月11日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、12日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第31号館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。改正の内容について説明を求めたところ、貸付金の限度額の引き上げ、貸付期間の延長等であり、利用状況は、今年度は2月末現在で運転資金2件、500万円、設備資金2件、700万円であるとの説明がありました。

委員から、PRと手続の簡素化を図り、利用しやすくなるよう検討されたいとの要望がありました。

議案第32号館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条例の制定についてであります。協力員報酬の積算基礎についての質疑を行い、実際の報酬は均等割と転作の戸数割で算出されるが、戸数割の関係で報酬に差が生じる。農業協力員報酬については他の委員報酬とは質が異なるので、今後報酬のあり方を検討してはどうかとの意見がありました。

議案第33号市道路線の認定についてであります。市道342号線については、三和仏商付近の交差点から浜寿司付近の交差点に通ずる県道を市道認定しようとするものであるが、大型車の通行を制限し、一方通行の廃止を検討してはどうかとの意見がありました。

議案第37号平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)についてであります。下水道事業の進捗状況及び5月の連休を控え、海岸通りの下水道工事はどうかとの質疑に対しまして、平成7年度末で幹線管渠が31

.6%、枝線管渠が20.2%、処理場用地取得が63.2%、処理場建設が約35%となる予定である。海岸通りについては、8月まで下水道工事は行わないとの説明がありました。

議案第38号平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）についてであります。減額となった理由及び今後の見通し等について説明を求めたところ、国庫補助の減額等によるものであり、本年10月に南房総広域水道が通水となるが、当面の受水体制として、館野、九重地区については、標高の高いところを除き今年度終了予定であり、神戸、館山方面へも配水管布設を実施しているとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました各議案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（辻田 実君） 日程第4、請願の継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第6号耐震診断への助成制度の創設を求める請願書について、委員長から、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第5、議案第1号乃至議案第8号、平成8年度各会計予算を一括して議題といたします。

予算審査特別委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各会計予算は、3月12日の本会議において予算審査特別委員会に付託されたものであります。

よって、これより予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長日下君敏さん。御登壇願います。

(予算審査特別委員会委員長日下君敏君登壇)

◎予算審査特別委員会委員長(日下君敏君) ただいま議題となりました議案第1号乃至議案第8号、平成8年度館山市一般会計予算並びに特別会計予算に係る予算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月12日の本会議におきまして設置されました本委員会を15日招集し、付託を受けました各予算案につきまして慎重に審査を行いました。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。職員研修委託料について説明を求めましたところ、委託先は日本経営協会で、対象職員は124人を予定している。講習の内容としては、職務に必要な知識、各種法律関係、地方行政実務等の研修を行っていききたいとの説明がありました。

次に、企画費中、産業方策策定委託料に関して、委託先及び内容についての説明を求めましたところ、東京湾横断道路、館山自動車道等の整備が行われているが、こうした道路の整備による波及効果を調査することにより、各産業が発展するための指針を示そうというものである。委託先については具体的に決まっていないとの答弁がありました。

また、インターネット加入負担金に関連して、インターネットの利用状況等の質疑応答の後、委員から、ホームページ上に意見や要望が反映されるようにしてはどうかとの意見がありました。

館山港整備調査負担金について、団体及び調査内容等の質疑に対しまして、現在民間において館山港の整備を検討する団体を組織しようとしており、市としても、館山港の整備について市民の意向を十分把握するために当初予算に計上したとの答弁がありました。

次に、防災費中、木造住宅耐震診断謝礼について、耐震診断の実施方法を尋ねましたところ、千葉県建築士事務所協会安房支部に依頼しており、相談員2名で月1回程度の相談窓口を開設したい旨の説明がありました。

また、地域防災計画見直し策定業務委託料につきまして、委員から、外部委託を行うということであるけれども、市の実情が十分盛り込まれているも

のなのかとの質疑に対しまして、地域防災計画の見直しに当たっては、平成8年度中を目途に作業を進めたい。考え方としては、阪神・淡路大震災等の教訓をもとに、また国、県の計画との整合を図りながら策定したい。市の実情という点については、職員の初動体制、情報収集等、各分野からの検討を取りまとめ、実践的で十分機能し得る計画を考えているとの説明がありました。

次に、コミュニティセンター費中、駐車場及び市道整備工事請負費に係る駐車場の活用について説明を求めましたところ、文化ホール及びコミュニティセンター兼用駐車場を考えている。駐車場の中央部分は、車どめを設置しないで、多目的な利用ができるような形態で設計を行っており、具体的な利用方法は検討中である旨の説明がありました。

次に、第3款民生費であります、福祉タクシー利用助成金について、利用状況の説明を求めたところ、今年度の利用は現在までに障害者128人、精薄者3人、平成6年度は障害者99人、精薄者3人である旨の答弁がありました。

委員から、今後とも福祉タクシーの利用拡大を図るための啓発を要望するとの意見がありました。

配食サービス事業配送業務委託料につきまして、内容の説明を求めましたところ、平成7年10月に配食サービスの希望調査を実施した結果、約100人の希望があった。自動車や配食用の食器等を購入すると国、県からの補助が受けられるため、これを利用して実施しようとするものであるとの説明がありました。

寝たきり老人福祉手当について、最近の動向を尋ねたところ、毎年少しくつふえているとの回答がありました。

委員から、寝たきりを一人でも減らすことができるよう今後とも努力されたいとの要望がありました。

次に、第4款衛生費であります、安房郡市広域市町村圏事務組合保健衛生費負担金に関連して、安房医師会病院建設の進捗状況はどうかとの質疑に対しましては、昨年11月に安房医師会において資金計画等を策定して、本年

1月に広域市町村圏事務組合に対し資金等の支援についての要請があった。また、機能計画、建設計画については、各市町村に説明会を開催する予定であると聞いているとの答弁がありました。

一日も早く救急医療を備えた安房医師会病院が建設されるよう要望するとの意見がありました。

合併処理浄化槽設置事業補助金について、設置基数等の質疑を行いました。関連して、下水道事業第1期事業区域内での合併処理浄化槽設置の申し出に対する対応はどうか。また、河川浄化について、上流となる市町村との協議はどうかということの説明を求めましたところ、公共下水道事業第1期事業区域内における合併処理浄化槽設置希望者に対しましては、補助の対象にならない旨の説明をしている。また、河川浄化の関係については、安房地区環境行政連絡協議会が設置されており、その中で関係市町村にごみ、ふん尿等の投棄をしないよう啓蒙、啓発の要望をした経緯があるとの説明がありました。

次に、第7款商工費であります、宣伝等広告料について説明を求めましたところ、安房11市町村が合同で、FM放送を利用して週5日、各一、二分程度の宣伝を行おうとするものである。なお、館山市単独で行おうとする場合、非常に経費がかかるため、合同で行うものであるとの回答がありました。

また、北条海岸駐車場建設工事請負費について、その概要及びビーチ利用促進モデル事業との関連について尋ねましたところ、市で管理している八幡海岸駐車場に乗車したままで利用できるドライブスルー型の電話ボックスを設置するもので、第3期地域リーダー育成事業として検討してきたものである。なお、ビーチ利用促進モデル事業の区域内でもあり、県土木事務所と連絡を取り合い、手戻りのないよう進めていきたいとの回答がありました。

次に、第8款土木費であります、私道舗装等補助金につきまして説明を求めたところ、私道の整備を目的とする組合に対し、館山市私道舗装等助成金交付要綱に基づき交付しているものである。補助率は65%とし、整備後は市に帰属できるものであるとの回答がありました。

また、都市計画基礎調査委託料につきまして、都市計画法の規定により、

県が実施すべきものではないかとの質疑に対しまして、そのとおりであるけれども、市町村の詳細部分については、県が市町村に委託して行うものである。なお、負担割合については、これからの協議の中で決まるため、過去の経過を踏まえた見込みである。この調査は市にとっても利用価値の高いものであるので、委託により実施しているものであるとの説明がありました。

次に、第10款教育費であります、教育用パソコン整備事業につきまして、文部省の整備目標として、中学校については1人1台ということを聞いているが、その点についてどのように対応しているかとの質疑に対しまして、まず小学校について3人に1台を目途として整備を進め、平成8年度において北条、神戸、富崎、館野、九重の5校、翌年度に残りを整備し、その後、平成10年度から中学校について1人1台の整備を図る予定であるとの回答がありました。

さらに、その指導体制について尋ねたところ、人事異動について配慮がなされておるところであり、またこれまでも研修を行ってきており、複数の教員が対応できるような体制となっているとの説明がありました。

また、豊房小学校校舎改修及び増築工事請負費に係る増築工事の内容について尋ねましたところ、現在理科室と家庭科室が併用となっているため、その解消を図ろうとするものであるとの説明がありました。

次に、平成8年度予算全体を通して、委員から、補助金については、一度決定すると、常にそれが継続していく傾向にあるが、あくまでも事業を補助するものであり、10年、15年といったサイクルをつけることが必要ではないかとの意見がありましたが、それに対し、予算編成時において、各課に対し、新規設定を控え、また零細的補助金、成果の上がったものについてはなるべく廃止の方向で検討するが、市民のための補助であり、効果があるということで廃止をするのは簡単ではないとの説明がありました。

次に、一般会計歳入であります、個人市民税の徴収率を97.5%で計上しているが、最近の実績はどうかとの質疑に対し、平成6年度は96.67%、7年度は、まだ途中であり、確定していないけれども、努力目標として96.8%を見込んでいるものである。なお、当初予算において97.5%と設定したのは、

財源不足であるので、目標を高くして徴収に努めるものであるとの回答がありました。

次に、国民宿舎事業特別会計予算であります、鳩山荘は経営状況が余りよくないようであるけれども、原因をどのように考えているかとの質疑に対し、旅行の形態が団体から家族に変化してきており、客室定員と宿泊人数とのずれが生じていることが主な理由として考えられるとの回答がありました。

さらに委員から、宣伝の不足も考えられると思うが、地元の人が進んで利用できるような状況づくりに努めていただきたいとの要望がありました。

以上が主な質疑応答等の概要であります。

次に、討論を行いました。委員から、財政状況が非常に厳しい中、本予算編成に当たって大変な苦労があったことは理解できる。特に、活力ある文化福祉都市を目指す館山市として、文化面、福祉面において、限られた予算の中できめ細かなサービスを提供しようとしている姿勢は大いに評価するところである。しかしながら、予算を切り詰める一方で、まだ組織されていない団体への補助を計上するような不公平な状況が生じている。市として優先すべき事業が十分実施されているとは言えないということを指摘し、議案第1号平成8年度館山市一般会計予算に反対するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第1号平成8年度館山市一般会計予算については賛成多数をもって、議案第2号乃至議案第8号の各特別会計予算については全員一致をもって、それぞれ原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げましたが、市当局におかれましては、今後の予算執行、行政運営に当たり、本特別委員会における要望、指摘事項等を十分に配慮されるよう要望いたしまして、予算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結をいたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第1号平成8年度館山市一般会計予算について、起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

続いて、議案第2号乃至議案第8号、平成8年度館山市各特別会計予算について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

特別委員会中間報告

◎議長（辻田 実君） 日程第6、これより各特別委員会の中間報告を行います。

まず、館山駅周辺整備調査特別委員会委員長鈴木忠夫さん。御登壇願いま

す。

(館山駅周辺整備調査特別委員会委員長鈴木忠夫君登壇)

◎館山駅周辺整備調査特別委員会委員長(鈴木忠夫君) 館山駅周辺整備調査特別委員会における調査の状況について御報告申し上げます。

本委員会は、昨年6月定例会において、都市機能の充実を図るため、館山駅周辺整備及び館山駅舎建設に関する諸問題について調査するとして本委員会設置の趣旨に基づき、館山駅西口地区土地区画整理事業の進捗状況及び館山駅の橋上駅舎化問題、さらに東口の再開発事業について、改選前の委員会の調査に引き続き、委員会調査の主眼として進めていくことといたしました。

8月11日委員会を招集し、駅西口地区土地区画整理事業の進捗状況及び館山駅橋上駅舎建設問題について市に説明を求めました。

まず、館山駅土地区画整理事業の進捗状況であります、建物等の移転については、平成6年度までに69.7%が移転完了しており、7年度に11棟の移転を予定している。工事関係については、区画道路 994メートルのうち65.6%が完成し、7年度は 186メートルの完成を予定しているとの説明がありました。

次に、館山駅橋上駅舎建設問題についてであります、駅舎概略設計の内容について説明を求めました。西口、東口を結ぶ自由通路により利用しやすい駅とし、障害者等の利便性を考慮し、エレベーターの設置を計画している。なお、延べ床面積2,215.65平方メートル、自由通路部分は幅6メートルであるとの説明がありました。

さらに、館山駅橋上駅舎建設促進協議会において財務部会を設置し、資金計画等について検討していく旨の説明がありました。

10月17日には協議会を開催、J R 館山駅長を招き、館山駅の乗降客の推移及びJ Rとしての乗客増加対策について説明を受けました。

なお、11月には、長野県上田市における市街地再開発事業及びJ R 上田駅の自由通路について、また群馬県嬬恋村におけるリゾート施設の視察を行いました。

委員会としては、今後とも引き続き館山駅周辺整備事業及び橋上駅舎化の

推進について、議会の立場から委員会調査を進めていくことといたしております。

以上、本委員会における現在までの調査の概要について御報告申し上げ、館山駅周辺整備調査特別委員会中間報告といたします。

◎議長（辻田 実君） 続いて、館山湾整備調査特別委員会委員長永井龍平さん。御登壇願います。

（館山湾整備調査特別委員会委員長永井龍平君登壇）

◎館山湾整備調査特別委員会委員長（永井龍平君） 館山湾整備調査特別委員会における調査の状況について御報告申し上げます。

本委員会は、昨年6月定例会において、良好な海岸環境の創出と調和ある海域利用を図るため、館山湾の整備に関する諸問題について調査するとして本委員会設置の趣旨に基づき、特に今後の市政振興に極めて大きな影響を与えと思われる運輸省の指定を受けたビーチ利用促進モデル事業について、委員会調査の主眼として進めていくことといたしました。

8月9日委員会を招集、事業主体は県であることから、市として総括的に事務を担当している企画部より基本構想図が示され、事業のテーマ、整備目標等の概要について説明を受けました。

市民運動場から館山栈橋までの2.3キロメートルが指定され、市民運動場から安房西高等学校下までの海岸1,800メートルについては、人工ビーチを中心とした海岸環境整備により、利害関係者との合意形成を図りながら、護岸工事から事業を進めたい。また、安房西高等学校下から館山栈橋までの500メートルについては、マリーナ、海上交通の拠点等、港湾環境整備として進めていきたい旨の説明がありました。

さらに、9月4日協議会を開催し、事業主体である県の関係者を招き、事業実施に至る背景及び経過並びに第1期工事の概要について詳細に説明を受けました。

調査の中で、特に漁協、茶店組合などの関係者との話し合いについては、市と連携をとって対応していきたい。また、全国で2番目に指定されたという誇りを持った中で進めていくその盛り上がりが大切だ。市の方で地域の合

意形成に対する取り組みをお願いしたいとの県の考えが示されました。

なお、11月には、先進地として神奈川県茅ヶ崎市、静岡県熱海市を訪問し、海岸環境整備に関する事業について視察を行いました。

委員会としては、今後事業の促進を図る観点から、議会の立場として、進捗状況の確認、経済的波及効果などについて引き続き調査を進めていくことといたしました。

以上、本委員会における現在までの調査の概要について御報告申し上げ、館山湾整備調査特別委員会中間報告といたします。

◎議長（辻田 実君） 続いて、地域医療問題調査特別委員会委員長斉藤実さん。御登壇願います。

（地域医療問題調査特別委員会委員長斉藤 実君登壇）

◎地域医療問題調査特別委員会委員長（斉藤 実君） 地域医療問題調査特別委員会における調査の状況について御報告申し上げます。

本委員会は、昨年6月定例会において、市民の医療需要に対応した地域医療体制の整備充実に関する諸問題について調査するとして本委員会設置の趣旨に基づき、市民から特に要望の強い救急医療施設を併設した医師会病院の建設問題について、委員会調査の主眼として進めていくことといたしました。

8月17日委員会を招集し、6月定例会において本委員会に付託され、継続審査となっていた救急医療施設を併設した安房医師会病院建設を要望する請願書及び陳情書について審査を行いました。

審査に当たっては、市担当課より医師会病院建設計画の経過及び現状等について市がどのように把握をしているか説明を受け、審査の参考としたところであります。

審査の結果については、既に御報告したとおり、全員一致をもって採択すべきものと決しました。さらに、本会議においても報告どおり決定されております。

請願書を採択した後、9月4日協議会を開催し、医師会の会長初め関係者を招き、意見交換を行いました。

医師会からは、新病院等建設に関する計画書により、計画概要、医師会病

院及び健康増進センターの機能計画案等が示されました。

委員から、早い時点で資金計画を立て、それに基づいて具体的に市町村に対し支援を要請していくことが必要ではないかとの意見に対し、救急問題をどう扱うか問題であるが、とにかくはっきりした額を示し、広域市町村圏の議題にされるようにしたい旨の考えが示されました。

なお、11月には、先進地視察として群馬県伊勢崎市の市民病院並びに佐波医師会病院を訪ね、救急医療の現状と課題等について調査を行いました。

委員会としては、今後引き続き医師会病院建設問題について、議会の立場から調査を進めていくことといたしております。

以上、本委員会における調査の経過及び概要について御報告申し上げ、地域医療問題調査特別委員会中間報告といたします。

◎議長（辻田 実君） 以上で各特別委員会の中間報告を終わります。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第7、議案第39号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第39号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を御説明申し上げます。

平成8年4月14日をもちまして任期満了となります人権擁護委員1名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、引き続き池田 勝さんを最適任者といたしまして御推薦

申し上げたいと存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第8、議案第40号館山市収入役の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第40号館山市収入役の選任について、提案理由を御説明申し上げます。

川上義雄館山市収入役が平成8年3月31日をもって任期満了となりますので、その後任として永野 修現企画部長を適任と考え選任いたしたく、市議会の同意を得ようとするものでございます。

よろしくお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

収入役の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、収入役の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第9、発議案第2号地方分権の実現に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

22番榎本春光さん。

（22番議員榎本春光君登壇）

◎22番（榎本春光君） ただいま議題となりました発議案第2号地方分権の実現に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

地方分権に関しましては、本市議会におきましても、既に平成6年3月、平成7年3月と、2度にわたりその推進方を強く関係機関に要望してきたところであります。昨年の5月には、長年の地方公共団体の念願が実り、地方分権推進法が成立を見、現在、同法に基づく地方分権推進委員会が発足し、審議が進められております。今回さらに全国的な運動の一環として、実効ある推進計画の作成とその計画に基づく施策の確実な実施を重ねて関係機関に要望いたしたく、8名の賛成者を得まして提案した次第であります。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わります。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前11時36分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第1回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第1号乃至議案第40号
- 1 発議案第2号
- 1 継続審査について（請願第6号）
- 1 特別委員会中間報告

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員